

Q.妊娠中に感じた困ったこと・不安だったことはありますか？

—妊娠初期は悪阻がひどく、安定期より前に公表となってしまいました。周りに気を遣っていただいたことで安心して、焦りや申し訳なさはありませんが、早めに言って良かったと思っています。悪阻中は有休を使って過ごしました。復帰するときも不安でしたが温かく迎えていただきました。2回目の産休・育休は双子だったのですが、コロナ禍の初めの頃で、感染した際のリスクを考え産院・上司と相談し事務作業や書類の業務を中心に言い、安心して過ごすことが出来ました。出来ることと難しいことを一緒に考えてくださる配慮があり、助かりました。

Q.1回目は回復期で、2回目は急性期での復帰でしたが、その点に関してはいかがですか？

—保育園の時間の兼ね合いて、急性期への復帰となりました。回復期から急性期に戻る際には不安もありましたが、法人の制度を使って事前に「ならし出勤」をして、雰囲気があったので不安はかなり軽減できました。担当患者さんの人数を制限してもらったり、一緒に関わる作業療法士さんや言語聴覚士さんなども相談しやすく、教えてもらいながら過ごすことが出来ました。

Q.悪阻がひどかったとの事でしたが、その他体調不良やお子さんの体調不良の際の休みやすさや周囲の反応は？

—他の職場の人に聞くと1年間の育休が取れないことも少なくないそうです。スタッフが足りないから早く戻ってきてほしいという職場もあるそうです。夫も医療従事者なのですが、子どもの具合が悪くてもすぐに休める職場ではないので私が調整をすることが多いです。皆さんに迷惑をかけてしまうけれど、フォローしていただけていますし、「休んでも大丈夫だよ」と言ってくれるので働きやすいです。自分がしてもらったことを今後、還元していければいいなとも思っています。

Q.科内に同年代のママさんがたくさんいますよね。

—回復期にいたときに、同時期に3人妊婦さんがいたので、いろんなことに誘ってもらいました。情報共有をしたり、育児の相談をしていました。家に閉じこもるタイプだったので、誘っていただけたことで気分転換になりました。今もときどき、児童館などに一緒に出掛けることがあります。

Q.子育てしながら働くスタッフとして、当院の魅力は何ですか？

—かなり理解ある職場だと思っています。申し訳ないという気持ちがあったり、ここで働いていていいのかなと思うこともありましたが、そのぶん他のところでフォローし合うことが出来ている職場なのでとても魅力的です。復帰の際も、ランチオンママセミナーで病院の事業報告やセミナーの開催などを定期的に知らせてくれるので、職場と繋がっている感じがするのがいいと思います。復帰後は、フレックス勤務で2ヶ月ほど働きました。子どもが3人いると、朝はバタバタするのでとても助かりました。朝の15分・30分は本当に貴重ですから。あと、看護休暇があるのは強みだと思っています。夫の職場にはない制度です。具合が悪い時や受診の時に使えます。子どもの数で付与日数は違いますが、時間単位で使えるようになったのがありがたいです。

Q.最後に、就職を希望している方に向けてのメッセージがあればお願いします。

—総合病院なので、勉強してステップアップして、やりたいことを見つけて次の病院に移る方や、地元に戻るという方も多いと思うんですけど、男女問わず長く働くことを十分考えられる病院だとも思います。産休・育休を取りやすいという点だけでなく、休みも取りやすい環境でもあるので、一緒に長く働くことも検討していただけると嬉しいです。